

令和9年度入学者向け 京都工芸繊維大学 入学者選抜要項

Kyoto Institute of Technology, 2027

工芸科学部

応用生物学域 ——— 応用生物学課程

物質・材料科学域 — 応用化学課程

設計工学域 ——— 電子システム工学課程
情報工学課程
機械工学課程

デザイン科学域 — デザイン・建築学課程



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

目 次

●令和9年度入学者向け入試（令和8年度実施）の主な変更点	1
I. 入学者選抜方法	2
II. 入学者選抜日程	4
III. インターネット出願について	6
IV. アドミッションポリシー	7
V. 募集人員	13
VI. 地域創生 Tech Program について	14
VII. 出願資格等	15
VIII. 障害等のある人への受験上の配慮・修学上の配慮について	20
IX. 入学者選抜の実施教科・科目等について	21
◎ 試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内	

●令和 9 年度入学者向け入試（令和 8 年度実施）の主な変更点

情報工学課程

- ・入学定員を 61 名から 71 名に増員します。

デザイン・建築学課程

- ・建築コース、デザインコース別に学生を募集します。

募集人員の詳細については、13 ページの『**V. 募集人員**』を参照してください。

各選抜の変更点は、以下のとおりです。

<変更点がある選抜>

選抜区分：ダビンチ入試（総合型選抜）一般プログラム【グローバル】

変更内容：①出願資格を国際バカロレア資格（見込）者で本学が指定する科目、成績を修めた者に変更します。

②第一次選考において「英語スピーキング・ライティング」に替えて IB スコアを用いて評価を行います。

なお、詳細については、「令和 9 年度ダビンチ入試（総合型選抜）募集要項」にてご確認ください。

令和9年度 京都工芸繊維大学 入学者選抜要項

I. 入学者選抜方法

京都工芸繊維大学工芸科学部の令和9年4月に1年次生として入学する者の選抜は、次の1、2、3及び4により行います。なお、専門学科・総合学科卒業生選抜、帰国生徒選抜は実施していません。

なお、各選抜の詳細については、必ず、学生募集要項をご確認ください。

学部入試最新情報：https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php

1. 一般選抜

一般選抜の「IV. アドミッションポリシー」（7、8ページ参照）に基づき、大学入学共通テスト及び本学が行う教科・科目に係る個別テスト等の成績、調査書の内容により、出願者の能力・適性等を総合して判定します。

- (1) 出願期間及び教科・科目に係る個別テスト等の実施日程
「II. 入学者選抜日程」（4ページ参照）に示すとおりです。
- (2) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等における実施教科・科目別配点
「IX. 入学者選抜の実施教科・科目等について」（21ページ以降参照）に示すとおりです。
- (3) 2段階選抜
2段階選抜は行いません。
- (4) 学内併願
地域創生 Tech Program 志願者は、同一課程に限り、第2志望に一般プログラムを選択することが可能です。地域創生 Tech Program については14ページを参照してください。

2. 総合型選抜

総合型選抜の「IV. アドミッションポリシー」（9、10ページ参照）に基づき、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを課さず、個人の資質・能力を総合評価して判定します。本学では、**ダビンチ入試**と呼んでいます。

- (1) 出願期間及び選考実施日程
「II. 入学者選抜日程」（5ページ参照）に示すとおりです。
- (2) 選抜方法
「IX. 入学者選抜の実施教科・科目等について」（21ページ以降参照）に示すとおりです。
第1次選考及び最終選考で行う試験実施内容については、「令和9年度ダビンチ入試（総合型選抜）学生募集要項」にてご確認ください。
- (3) 出願要件
最終選考に合格した場合、本学への入学を確約できる人を対象とします。全体の学習成績の状況（旧評定平均値）による出願資格の制限はありません。
※ダビンチ入試で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

3. 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜の「Ⅳ. アドミッションポリシー」(11～12ページ参照)に基づき、大学入学共通テストと提出された出願書類の内容等を総合し、＜一般プログラム＞／＜地域創生 Tech Program＞で学ぶ学生を選抜します。

(1) 出願期間

「Ⅱ. 入学者選抜日程」(4ページ参照)に示すとおりです。

(2) 選抜方法

「Ⅸ. 入学者選抜の実施教科・科目等について」(21ページ以降参照)に示すとおりです。

(3) 出願資格等

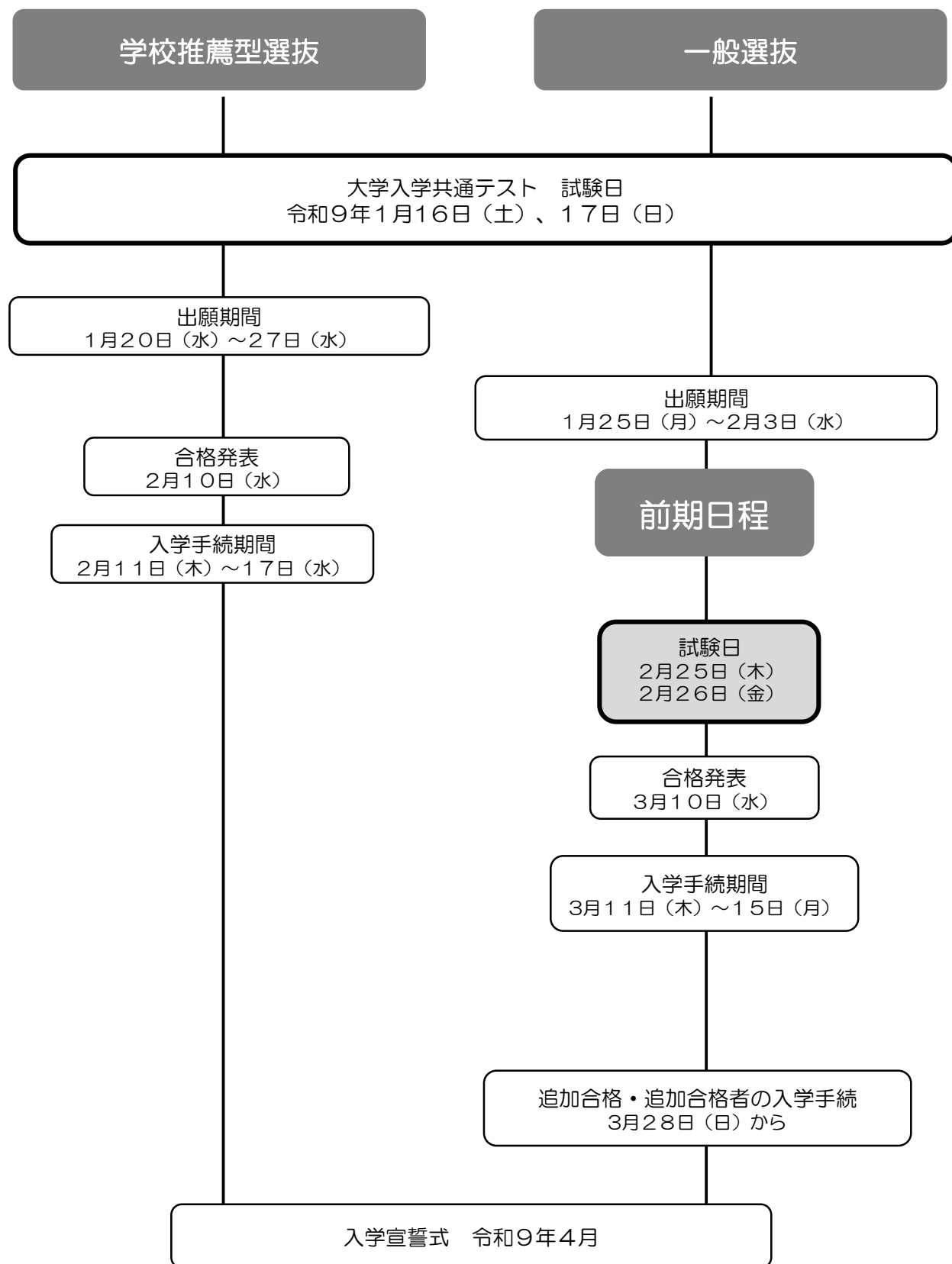
「Ⅶ. 出願資格等」(18ページ参照)に示すとおりです。

4. 特別入試（私費外国人留学生入試）

日本の大学で教育を受ける目的をもって入国し、私費により本学に入学を希望する外国人を対象として、日本留学試験、TOEFL 及び本学が行う小論文・面接によって、入学者を選抜します。実施日程等の詳細は、すでに公表している私費外国人留学生入試学生募集要項で確認してください。

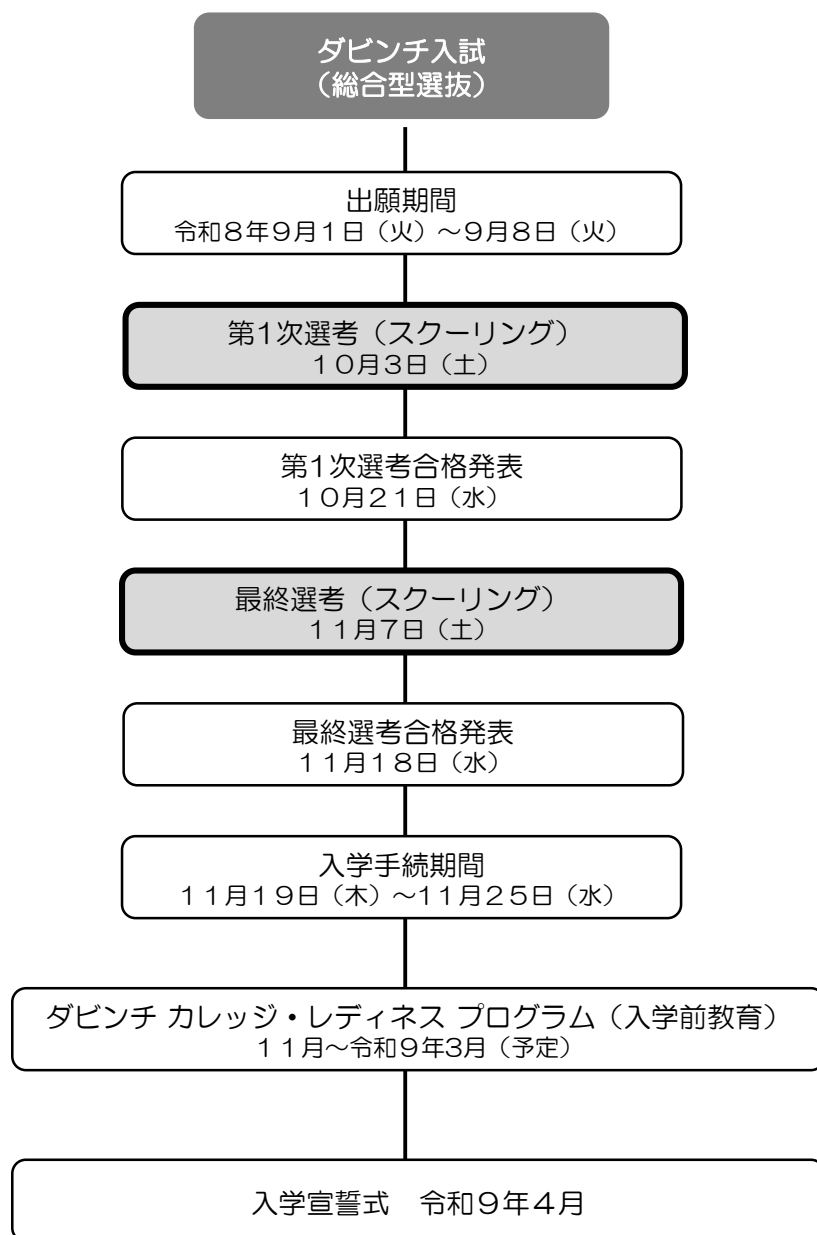
Ⅱ. 入学者選抜日程

①大学入学共通テストを課す入試



※ 出願にあたっては、必ず詳細を募集要項、ホームページで最新の情報を確認してください。
URL: https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php

②大学入学共通テストを課さない入試



※ 本学では、これらの入学者選抜のほか、私費外国人留学生入試及び3年次編入学試験を実施します。
詳細は、それぞれの募集要項をご確認ください。

Ⅲ. インターネット出願について

京都工芸繊維大学では、出願手続きの簡素化をはかるため、インターネット出願を導入しています。

インターネット出願に係る手続きの流れは、以下の通りです。なお、本学では、インターネット出願に登録しただけでは受け付けません。必ず出願書類を郵便等により、本学に提出してください。出願書類については、各入試の学生募集要項をご確認ください。

また、学生募集要項の冊子及び紙媒体の入学願書はありません。

① ホームページのインターネット出願のページへアクセス

<https://www.postanet.jp/info/010050/>



このバナーが目印です

② 志望課程、プログラム等の選択、志願者情報（氏名・住所等）の入力、 顔写真のアップロード

③ 受験料（検定料）の支払い （コンビニエンスストアでの支払い、クレジットカード決済、銀行ＡＴＭ （ペイジー）が利用可能です）

④ 入学願書のダウンロード、印刷



⑤ 入学願書、調査書等の必要書類を大学へ郵送



IV. アドミッションポリシー

1. 一般選抜

学域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、教科・科目に係る個別テストでは、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストと調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・総合的な学習能力、柔軟な発想、論理的な思考力 ・自然科学を学ぶための生物、化学、数学、英語などの基礎学力 ・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に付けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、教科・科目に係る個別テストでは、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストと調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 ・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 ・課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、教科・科目に係る個別テストでは、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストと調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支える ICT 分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICT を活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、教科・科目に係る個別テストでは、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストと調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的な思考力や表現力 ・好奇心、チャレンジ精神と行動力
	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に付けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、教科・科目に係る個別テストでは、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストと調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 ・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力

（次のページに続く）

(一般選抜続き)

学域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、教科・科目に係る個別テストでは課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力や総合的な学力を測り、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

地域創生 Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシーに加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。
その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生 Tech Program	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、教科・科目に係る個別テストでは課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力や総合的な学力を測り、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心

2. ダビンチ入試(総合型選抜)

学域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接試験により、説明能力、理解力、論理的思考力、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	・生命と自然に対する敬愛 ・総合的な学習能力、柔軟な発想、論理的な思考力 ・自然界のさまざまな事柄について、生物学だけでなく多面的、論理的に思考できる、積極的かつ創造的な人
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身に付けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接・口頭試問により、基礎学力、目的意識、自主性、適性などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための基礎学力 ・化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料さらには生体関連物質に対する好奇心・学習意欲 ・化学だけの一面的な視野にとらわれず、広い視野とソフトで多様な思考を持ち、課題に向かって情熱的に取り組む意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接・口頭試問により、説明能力、理解力、論理的思考力、発想の斬新性、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	・数学、物理の基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支える ICT 分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICT を活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、情報工学に関連する内容の講義に対するレポート作成により、基礎学力や論理的思考力、表現力を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	・論理的な思考力や表現力、数学の基礎学力 ・好奇心、チャレンジ精神と行動力 ・人や社会への関心、および将来 ICT 分野でリーダーシップをとって活躍しようとする意欲

(次のページに続く)

(ダビンチ入試(総合型選抜)続き)

学 域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
設計工学域	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に付けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、独創性、社会性、積極性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、機械工学に関連する課題を提示し、自らの力で観て、考えて、創造し、それを表現する力の素養と、論理的思考力、創造力、チャレンジ精神、数学、物理、英語等の基礎学力をプレゼンテーションにより評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力、基礎学力 ・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザインと建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考力、文章表現力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、プレゼンテーション試験により自己の目的意識、創造力、独創性等を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、問題分析力、プレゼンテーション能力、独創性、意欲、リーダーシップ、協調性を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	・空間や形態に関する数理的理解力 ・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

一般プログラム【グローバル】及び地域創生 Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシーに加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
一般プログラム【グローバル】	各課程の「人材育成の目標」と同じ。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、国際バカロレアのスコアにより基礎知識、論理的思考力、探究スキル、課題発見・解決能力、英語によるコミュニケーション能力等を評価します。また、応用化学課程では、それらに加え、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考力、文章表現力を評価します。最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を総合的に評価して、求める能力・適性を判定します。	・各課程の「求める能力・適性」に加えて、各課程の専門を通して産業等のグローバル展開に貢献する意欲 ・科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力 ・英語によるコミュニケーション能力
地域創生 Tech Program【一般】【地域】【社会人】	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、志望する学域の講義・レポート作成により基礎知識、論理的思考力等を評価するとともに、地域課題レポート試験により地域社会等の課題に対する理解力、分析力、提案力を評価します。 最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を総合的に評価して、求める能力・適性を判定します。	・各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心

3. 学校推薦型選抜

学域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考力 ・生物、化学、英語などの基礎学力 ・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身に付けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 ・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 ・課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支える ICT 分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICT を活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的思考力や表現力 ・好奇心、チャレンジ精神と行動力
	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じて世界変化への洞察力を身に付けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 ・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力

(次のページに続く)

(学校推薦型選抜続き)

学域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

地域創生 Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシーに加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生 Tech Program	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、出願書類に基づき、本プログラムおよび下記の各課程の求める能力・適性を判定します。	・各課程の専門を通して地域創生に貢献する意欲 ・科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力 ・生命と自然、人と文化への敬愛心、創造的・論理的な思考力、地域社会課題に対する洞察力 ・科学技術を学ぶための基礎学力、チャレンジ精神と行動力

4. 私費外国人留学生入試

すでに公表している私費外国人留学生入試学生募集要項で確認してください。

V. 募集人員

令和9年度(令和8年度実施)工芸科学部 1 年次学生募集人員

学域	課 程		入 学 定 員	一般プログラム						地域創生Tech Program					
				小計	一般 選抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校 推薦型 選抜	特別 入試	小計	一般 選抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
					前期 日程	一般	グロー バル		私費 外国人 留学生		前期 日程	一般	地域	社会人	
物応 学用 域生	応 用 生 物 学 課 程		50	48	25	7	1	15	若干名	2	若干名	1		若干名	1
料物 科学 学域・材	応 用 化 学 課 程		169	166	115	6	3	42	若干名	3	若干名	2		若干名	1
設計 工学 学域	電子システム工学課程		61	58	34	5	1	18	若干名	3	若干名	2		若干名	1
	情 報 工 学 課 程		71	68	44	5	1	18	若干名	3	若干名	2		若干名	1
	機 械 工 学 課 程		86	83	58	4	1	20	若干名	3	若干名	2		若干名	1
デザ イン 科学 学域	デザイン・ 建築学課程	建築 コース	156	92	65	15	2	10	若干名	5	若干名	3	1	若干名	1
		デザイン コース		56	40	9	1	6	若干名	3	若干名	1	1	若干名	1
合 計			593	571	381	51	10	129	—	22	—	合わせて15			7

注 1. 一般選抜前期日程では、第 1 志望で地域創生 Tech Program を選択した志願者は、同一課程に限り、第 2 志望に一般プログラムを選択することが可能です。

注 2. 募集人員の取り扱いは次の通りとします。

- ①一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）と学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。
- ②一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）で募集する一般（又はグローバル）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員をグローバル（又は一般）に加えます。
- ③私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、各課程の募集人員には含まれません。
- ④地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員（若干名）は、地域創生 Tech Program の各課程の募集人員に含まれます。
- ⑤地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）のデザイン・建築学課程で募集する一般（又は地域）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。
- ⑥地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生 Tech Program の学校推薦型選抜に含めます。
さらに、地域創生 Tech Program の学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生 Tech Program の一般選抜前期日程の募集人員（若干名）に含めます。
- ⑦地域創生 Tech Program の入学手続者数（一般選抜前期日程においては合格者数）が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注 3. ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

注 4. 学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

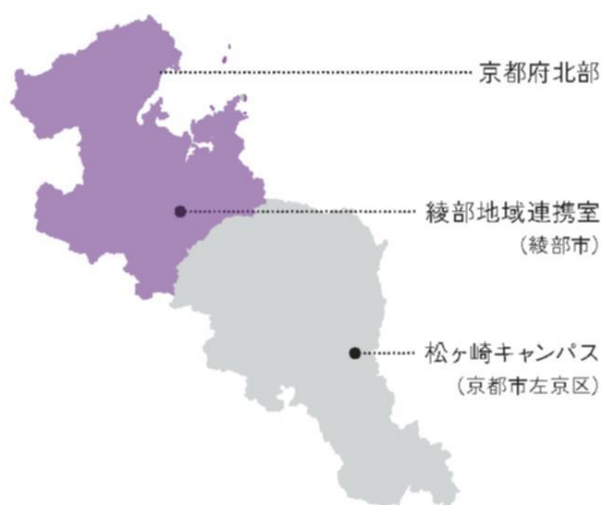
VI. 地域創生 Tech Program について

地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、**入学から3年次前学期までは京都市の松ヶ崎キャンパス**で開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

3年次後学期には京都府北部を拠点として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。



※単位の修得状況によっては、京都府北部で地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップに取り組む時期が3年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

※入学後は地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに3年次編入学することはできません。

Ⅶ. 出願資格等

1. 一般選抜（前期日程）＜一般プログラム、地域創生 Tech Program＞

次の（1）から（10）のいずれかに該当し、令和9年度大学入学共通テストのうち、本学が指定した教科・科目を受験した人に限られます。

なお、入学願書が受理されていても、本学が指定した教科・科目を受験していない人は、出願無資格者となり、受験することができません。

- （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和9年3月31日までに卒業見込みの人
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込みの人
- （3）外国において、学校教育における12年の課程を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込みの人又はこれらに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- （4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込みの人
- （5）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込みの人
- （6）外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際A レベル、欧州バカロレア資格を有した人及び令和9年3月31日までに資格を有する見込みの人
- （7）国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、コグニア、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した人及び令和9年3月31日までに修了見込みの人
- （8）文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号第1号～第19号）
- （9）高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの人
- （10）本学において、下記の「個別の入学資格審査」により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、平成21年4月1日までに生まれた人

出願資格(10)に係る個別の入学資格審査の申請について

（出願資格(10)以外で出願する人は不要です。）

1. 個別の入学資格審査の申請を行うことができる人

学校教育法施行規則第150条第7号の個別の入学資格審査を受けようとする人で、本学に入学する意思があり、入学年度の前年度末までに18歳に達している人。

2. 提出書類

- （1）入学資格審査申請書
- （2）経歴書
- （3）出身学校等の卒業（見込）証明書
- （4）出身学校等における学習歴を証明する書類
- （5）出身学校等の学則
- （6）出身学校等の教育課程表
- （7）社会での実務経験や取得した資格等を証明する書類
- （8）返信用封筒（長形3号の封筒に、760円分の切手を貼り、申請者のあて先・氏名を明記すること）

3. 審査体制

本学において、提出書類に基づき適正に審査を行う。審査にあたっては、専修学校や各種学校等における学習歴や、大学の科目履修生としての単位取得などの個人の学習歴、あるいは、社会における実務経験や取得した資格等に基づき総合的に判断する。

4. 提出方法

持参又は簡易書留速達郵便により、封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書き郵送すること。

5. 入学資格審査申請期間

令和8年9月1日（火）から令和8年12月23日（水）（17時必着）

6. 審査結果

審査後、速やかに本人宛郵便により通知します。

7. 本件に関する問合せ先及び書類提出先

巻末問合せ先参照

2. ダビンチ入試（総合型選抜）

① 一般プログラム【一般】、地域創生 Tech Program【一般】

次の（1）から（10）のいずれかに該当する人です。

- （1） 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和 9 年 3 月 31 日までに卒業見込みの人
- （2） 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した人及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの人
- （3） 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した人及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの人又はこれらに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- （4） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの人
- （5） 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの人
- （6） 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレア資格を有した人及び令和 9 年 3 月 31 日までに資格を有する見込みの人
- （7） 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、コグニア、COBIS）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した人及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの人
- （8） 文部科学大臣の指定した人（昭和 23 年文部省告示第 47 号第 1 号～第 19 号）
- （9） 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの人
- （10） 本学において、下記の「個別の入学資格審査」により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、平成 21 年 4 月 1 日までに生まれた人

出願資格(10)に係る個別の入学資格審査の申請について

（出願資格(10)以外で出願する人は不要です。）

1. 個別の入学資格審査の申請を行うことができる人

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の個別の入学資格審査を受けようとする人で、本学に入学する意思があり、入学年度の前年度末までに 18 歳に達している人。

2. 提出書類

- （1） 入学資格審査申請書
- （2） 経歴書
- （3） 出身学校等の卒業（見込）証明書
- （4） 出身学校等における学習歴を証明する書類
- （5） 出身学校等の学則
- （6） 出身学校等の教育課程表
- （7） 社会での実務経験や取得した資格等を証明する書類
- （8） 返信用封筒（長形 3 号の封筒に、760 円分の切手を貼り、申請者のあて先・氏名を明記すること）

3. 審査体制

本学において、提出書類に基づき適正に審査を行う。審査にあたっては、専修学校や各種学校等における学習歴や、大学の科目履修生としての単位取得などの個人の学習歴、あるいは、社会における実務経験や取得した資格等に基づき総合的に判断する。

4. 提出方法

持参又は簡易書留速達郵便により、封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書き郵送すること。

5. 入学資格審査申請期間

令和 8 年 6 月 26 日（金）から令和 8 年 7 月 24 日（金）（17 時必着）

6. 審査結果

令和 8 年 9 月 1 日（火）までに本人宛郵便により通知します。

7. 本件に関する問合せ先及び書類提出先

巻末問合せ先参照

② 一般プログラム【グローバル】

次のAからCのすべてに該当する人です。

- A スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (International Baccalaureate Diploma (以下「IB」という)) を令和7年4月1日から令和9年3月31日までの間に取得した者、又は取得見込の者
- B 国際バカロレア (IB) 資格証書 (DP フルディプロマ) の写し及び最終試験の成績評価証明書を提出できる者 (令和9年1月に資格を取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する最終成績の予測スコアの証明書を提出すること。出願時に IB 資格を取得見込みでない者は出願できない)
- C 国際バカロレア資格の取得において、次の①から③すべてに該当する者
 - ① 日本語を母語とする者、日本語Aを履修した者、又は日本語B (HL) 若しくは日本語B (SL) を履修し、成績評価が5以上 (HL) 若しくは6以上 (SL) の者
 - ② 英語Aを履修した者、又は英語B (HL) 若しくは英語B (SL) を履修し、成績評価が4以上 (HL) 若しくは5以上 (SL) の者
 - ③ 国際バカロレア資格取得において、本学の指定する次表 (表 1) の科目を履修し、その科目の成績評価が5以上の者

表1 本学の指定する履修科目・履修レベルについて

課 程	指定する科目・履修レベル
応用生物学課程	数学 (「analysis and approaches」)、それ以外に生物又は化学の1科目 上記の科目はHLとする
応用化学課程	数学 (「analysis and approaches」)、それ以外に化学又は物理の1科目 上記の科目はHLとする
電子システム工学課程	数学 (「analysis and approaches」) 及び物理 上記の科目はHLとする
情報工学課程	数学 (「analysis and approaches」)、それ以外に物理又はコンピュータ・サイエンスの1科目 上記の科目はHLとする
機械工学課程	数学 (「analysis and approaches」) 及び物理 上記の科目はHLとする
デザイン・建築学課程	数学、それ以外にデザインテクノロジー又は美術の1科目 デザインテクノロジーあるいは美術はHLとする

※ スコアは、IB フルディプロマのスコアもしくは IB Predicted Grades を指す。

③ 地域創生 Tech Program【地域】

次の（１）又は（２）に該当する人です。

- （１）出願時に、京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置く高等学校を令和９年３月３１日までに卒業見込みの人
- （２）京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置いていた高等学校を卒業した人

④ 地域創生 Tech Program【社会人】

次の（１）から（６）のいずれかに該当する人のうち、平成１６年４月１日までに生まれた人又は令和９年３月３１日時点で職務経歴２年以上を有する平成１８年４月１日までに生まれた人。ただし、職業訓練期間は、職務経歴の期間に含みません。

- （１）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和９年３月３１日までに卒業見込みの人
- （２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した人及び令和９年３月３１日までに修了見込みの人
- （３）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和９年３月３１日までに修了見込みの人
- （４）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和９年３月３１日までに修了見込みの人
- （５）文部科学大臣の指定した人（昭和２３年文部省告示第４７号第１号～第１９号）
- （６）高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和９年３月３１日までに合格見込みの人

３－１．学校推薦型選抜＜一般プログラム＞

次の（１）から（５）のすべてに該当する人です。

- （１）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和９年３月３１日までに卒業見込みの人
- （２）学校長が、学校推薦型選抜＜一般プログラム＞のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人
- （３）合格した場合は、必ず入学することを確約できる人
- （４）令和９年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験した人
- （５）高等学校若しくは中等教育学校にて数学Ⅲを履修している人。ただし、応用生物学課程及びデザイン・建築学課程を除く。

※出願にあたっての注意事項は、３－３を参照してください。

３－２．学校推薦型選抜＜地域創生 Tech Program＞

次の（１）から（５）のすべてに該当する人です。

- （１）出願時に、京都府下に所在地を置く高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和９年３月３１日までに卒業見込みの人、又は出願時に京都府内に在住し、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和９年３月３１日までに卒業見込みの人
- （２）学校長が、学校推薦型選抜＜地域創生 Tech Program＞のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人
- （３）合格した場合は、必ず入学することを確約できる人
- （４）令和９年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験した人
- （５）高等学校若しくは中等教育学校にて数学Ⅲを履修している人。ただし、応用生物学課程及びデザイン・建築学課程を除く。

※出願にあたっての注意事項は、３－３を参照してください。

3-3. 学校推薦型選抜の出願にあたっての注意事項

- (1) <一般プログラム>の出願は、全国から可能です。また、既卒者も出願可能です。
<地域創生 Tech Program>の出願は、高等学校又は中等教育学校の所在地や居住地に制限があります。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部（学科・課程・専攻・コース等）のみです。
- (3) <一般プログラム>と<地域創生 Tech Program>を併願することはできません。
- (4) 学校推薦型選抜で合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜を出願し、受験しても合格者となることはありません。
- (5) 学校推薦型選抜で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜を受験することができます。ただし、合格者発表が国公立大学の一般選抜出願期間後となるため、あらかじめ出願手続きを完了しておく必要があります。
- (6) 本学のダビンチ入試（総合型選抜）を受験し、不合格となった人であっても、本学の学校推薦型選抜へ出願ができます。
- (7) 大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合格者となることはありません。
- (8) 1つの高等学校から推薦できる人数に制限はありません。
- (9) 課程ごとの注意事項
 - ・デザイン・建築学課程
数学Ⅲを履修していることが望ましい。

Ⅷ. 障害等のある人への受験上の配慮・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。

なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

① 申請期限

各入試の募集要項を確認してください。

② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（<https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html>）をご確認ください。

なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者など）との面談等を行います。

③ 提出先

卷末問合せ先参照

※なお修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考 URL： https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

<受験上の配慮の実績>

別室受験、試験時間の延長（１．３倍程度）、試験問題及び解答用紙の拡大（１．４倍程度）、タブレット端末による試験問題の閲覧、文書による注意事項の伝達、什器の持ち込み、補聴器の使用、拡大鏡等の使用、卓上時計の使用、試験室の希望する場所に座席を配置、試験室をトイレの近くに設定、試験中の補食、試験中の服薬、試験中の水分補給、試験室までの付添者の同伴及び構内での待機、試験場への乗用車での送迎、帽子の着用等

Ⅸ. 入学者選抜の実施教科・科目等について

学域・課程名及び入学定員等		学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点等								特別の選 抜方法等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計		
応 用 生 物 学 域	応用生物学課程 50人 《一般プログラム》 前期日程 25人 ダビンチ入試【一般】7人 ダビンチ入試【グローバル】1人 学校推薦型選抜 15人 私費外国人留学生入試 若干名	一般選抜(前期日程) 2月25・26日	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学、生物から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕	数 理 外	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」から2 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	共通テスト	75	25	100	100	100	25	425	外国人 追加合格 欠員補充	
							教科・科目に係る個別テスト等				200	400	200			800
		計	75	25	300	500	300	25	1225							
		一般選抜(後期日程)		後期日程での学生募集は行いません												
	《地域創生Tech Program》 前期日程 若干名 ダビンチ入試【一般】、【地域】合わせて 1人 ダビンチ入試【社会人】若干名 学校推薦型選抜 1人	ダビンチ入試(総合型選抜) 第1次選考 10月3日 最終選考 11月7日	大学入学共通テストは課さない		その他	第1次選考(出願書類、スクーリング等) 最終選考(面接)	第1次選考									
		最終選考														
		学校推薦型選抜 ＜一般プログラム＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学、生物から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	200	100	200	200	200	50	950		
							出願書類	合否判定に活用								
							計	200	100	200	200	200	50	950		
学校推薦型選抜 ＜地域創生Tech Program＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学、生物から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	200	100	200	200	200	50	950				
					出願書類	合否判定に活用										
					計	200	100	200	200	200	50	950				

物 質 ・ 材 料 学 域	応用化学課程 169人 《一般プログラム》 前期日程 115人 ダビンチ入試【一般】6人 ダビンチ入試【グローバル】3人 学校推薦型選抜 42人 私費外国人留学生入試 若干名	一般選抜(前期日程) 2月25・26日	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕	数 理 外	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	共通テスト	100	50	100	100	100	25	475	外国人 追加合格 欠員補充	
							教科・科目に係る個別テスト等				200	200	200			600
		計	100	50	300	300	300	25	1075							
		一般選抜(後期日程)		後期日程での学生募集は行いません												
	《地域創生Tech Program》 前期日程 若干名 ダビンチ入試【一般】、【地域】合わせて 2人 ダビンチ入試【社会人】若干名 学校推薦型選抜 1人	ダビンチ入試(総合型選抜) 第1次選考 10月3日 最終選考 11月7日	大学入学共通テストは課さない		その他	第1次選考(出願書類、スクーリング等) 最終選考(面接・口頭試問)	第1次選考									
		最終選考														
		学校推薦型選抜 ＜一般プログラム＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	200	100	200	200	200	50	950		
							出願書類	合否判定に活用								
							計	200	100	200	200	200	50	950		
学校推薦型選抜 ＜地域創生Tech Program＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	200	100	200	200	200	50	950				
					出願書類	合否判定に活用										
					計	200	100	200	200	200	50	950				

注. P 2 5 の「入学者選抜の実施教科・科目等に係る注意事項について」を参照ください。

学域・課程名及び入学定員等		学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点等									特別の選 抜方法等									
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	総合 問題	配点 合計										
設 計 工 学 域	機械工学課程 86人 《一般プログラム》 前期日程 58人 ダビンチ入試【一般】4人 ダビンチ入試【グローバル】1人 学校推薦型選抜 20人 私費外国人留学生入試 若干名	一般選抜(前期日程) 2月25・26日	国	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 } から1科目 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理と「化学、生物、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕	数 理 外	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物理基礎・物理 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	共通テスト	100	50	100	100	100	25		475	外国人 追加合格 欠員補充									
			教科・科目に係る個別テスト等							300	200	200			700										
			計				100	50	400	300	300	25		1175											
			一般選抜(後期日程)										後期日程での学生募集は行いません												
			ダビンチ入試(総合型選抜) 第1次選考 10月3日 最終選考 11月7日				大学入学共通テストは課さない		その他	第1次選考(出願書類、スクーリング等) 最終選考(課題提示・プレゼンテーション)	第1次選考														
	《地域創生Tech Program》 前期日程 若干名 ダビンチ入試【一般】、【地域】合わせて 2人 ダビンチ入試【社会人】若干名 学校推薦型選抜 1人	一般選抜(後期日程)	学校推薦型選抜 ＜一般プログラム＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 } から1科目 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理と「化学、生物、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	200	100	200	200	200	50		950									
								出願書類		合否判定に活用															
								計		200	100	200	200	200	50			950							
								学校推薦型選抜 ＜地域創生Tech Program＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 } から1科目 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理と「化学、生物、地学から1」 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	100	50	200		200	200	50		800			
													出願書類		合否判定に活用										
計		100	50	200	200	200	50							800											
デ ザ イ ン 科 学 域	デザイン・建築学課程 156人 建築コース 《一般プログラム》 前期日程 65人 ダビンチ入試【一般】15人 ダビンチ入試【グローバル】2人 学校推薦型選抜 10人 私費外国人留学生入試 若干名	一般選抜(前期日程) 2月25・26日	国	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 } から1科目 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学、生物、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕	数 外 その他	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ 総合問題	共通テスト						50	50	100	100	100	25		425	外国人 追加合格 欠員補充				
			教科・科目に係る個別テスト等													200		200		200		600			
			計				50	50	300	100	300	25	200	1025											
			一般選抜(後期日程)										後期日程での学生募集は行いません												
			ダビンチ入試(総合型選抜) 第1次選考 10月3日 最終選考 11月7日				大学入学共通テストは課さない		その他	第1次選考(出願書類、スクーリング等) 最終選考(プレゼンテーション、課題提示・グループディスカッション)	第1次選考														
	《地域創生Tech Program》 前期日程 40人 ダビンチ入試【一般】9人 ダビンチ入試【グローバル】1人 学校推薦型選抜 6人 私費外国人留学生入試 若干名	一般選抜(後期日程)	学校推薦型選抜 ＜一般プログラム＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 } から1科目 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学、生物、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	200	100	200	200	200	50		950									
								出願書類		合否判定に活用															
								計		200	100	200	200	200	50			950							
								《地域創生Tech Program》 前期日程 若干名 ダビンチ入試【一般】1人 ダビンチ入試【地域】1人 ダビンチ入試【社会人】若干名 学校推薦型選抜 1人	一般選抜(後期日程)	学校推薦型選抜 ＜地域創生Tech Program＞	国 地歴 公民 数 理 外 情報	国語 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」 } から1科目 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物理、化学、生物、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科8科目〕			共通テスト	200		100	200	200	200	50		950	
															出願書類			合否判定に活用							
計		200	100	200	200	200	50									950									

注. P 2 5 の「入学者選抜の実施教科・科目等に係る注意事項について」を参照ください。

入学者選抜の実施教科・科目等に係る注意事項について

【大学入学共通テストについて】

1. 英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、一般選抜及び学校推薦型選抜それぞれの各課程の配点に換算します。なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりませんが、その場合、リスニングテストの点数を0点とします。また、リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、一般選抜及び学校推薦型選抜それぞれの各課程の配点に換算します。
2. 出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。
3. 各科目名は、次のとおり略して表記しています。

「地理総合、地理探究」→「地総、地探」	「歴史総合、日本史探究」→「歴総、日探」
「歴史総合、世界史探究」→「歴総、世探」	「公共、倫理」→「公、倫」
「公共、政治・経済」→「公、政・経」	「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」
「数学Ⅰ、数学A」→「数Ⅰ、数A」	「数学Ⅱ、数学B、数学C」→「数Ⅱ、数B、数C」

英語→英 ドイツ語→独 フランス語→仏 中国語→中 韓国語→韓
4. 大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から1科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第1解答科目の得点を採用します。

【英語民間試験について】

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

【教科・科目に係る個別テスト等について】

1. 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
2. デザイン・建築学課程の「総合問題」は、複数の教科を総合して学力を判定する総合的な問題です。提示されたデザイン・建築・ビジネス・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力及びそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。

【特別の選抜方法等について】

1. 「追加合格」は、入学手続き者が募集人員に満たない場合には、追加合格により欠員を補充することを表します。
2. 「欠員補充」は、追加合格により欠員を補充しても、なお入学手続き者が募集人員に満たない場合には、欠員補充第2次募集を実施することを表します。
3. 「外国人」は私費外国人留学生入試を一般選抜以外に実施することを表します。

試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内

■京都駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線の乗換え、「京都」駅より「国際会館」行きに乗車

■阪急「烏丸」駅からお越しの場合

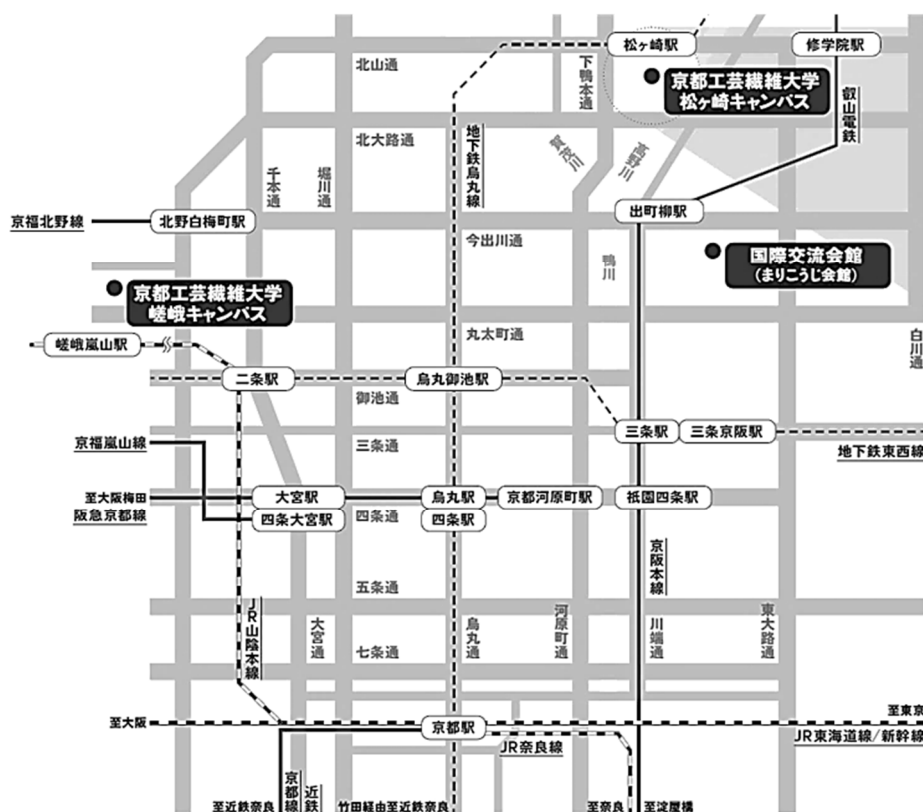
京都市営地下鉄烏丸線に乗換え、「四条」駅より「国際会館」行きに乗車

■京阪「三条」駅からお越しの場合

京都市営地下鉄東西線に乗換え、「三条京阪」駅より「太秦天神川」行きに乗車、
「烏丸御池」駅で京都市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗換え

京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅から徒歩8分

（「出口1」から東（右）へ進み4つ目の信号を南へ180m）



- ▶ 地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅より徒歩8分。
（出口1から東（右）へ進み4つ目の信号を南へ180m）
- ▶ 「松ヶ崎」駅へはJR・近鉄「京都」駅から地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗り換え約18分。
（地下鉄烏丸線は、阪急「烏丸」駅からも乗り換え可能です。）



発行年月 令和8年7月

発行元・問合せ先

京都工芸繊維大学 入試課学部入試係

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

TEL: 075-724-7164 FAX: 075-724-7160

e-mail: nyushi@kit.ac.jp URL: <https://www.kit.ac.jp>